

琉球通運
新垣 直人 会長



しんがき・なおと 1964年生まれ。創業者にM I C E業界を勧められ89年に上京。M I C E事業に30年携わり、2009年琉球通運非常勤取締役、15年代表取締役に就任。現在に至る。

- ①朝コーヒーを飲む
②海外移住。ゴルフボール800球打つ
③ハイク

%ぐらい減です。結果として金体的に
は前年並みとなっています。物価高の影響もあり、事業には必要な
調達に苦労しました。人の確保
に広告宣伝費をかけて採用しても続か
なかつたり、書類を注文してもなかなか

「2023年を振り返す。
口座ながら類に移行し、貨物量が一
気に増えたのではないかと思いついたが、
県内は前年比で%ほど増えていたに
どまりました。県外では伸びた
せいか、生鮮品や食料品、花火が2

か居かながつたりガソリンも高騰し、
厳しい一年となりました。
一県内や海外は好調であります。
輸出は非常に多くなっています。円
安の影響が大きいのではないかとよう
か。また、県内も宮古や石垣も含め順

設立60年 人を育て未来描く

調に伸びています。観光客が戻ってきた
ことが大きい要因だと思います。しか
し、利益については厳しく、金体的に
況ゆ、基本的なデータ収集や市場動
向を分析するのが狙いで、効率的な
輸送は脱炭素化につながっていきます
ね。

「2024年問題」への対策は
ドライバーの時間外労働は年間約6
時間が上限となります。沖縄本島
は南北約100kmほどで、本土の車の
長距離輸送はなく、それほど大きな問
題はないと思います。ただ、働き方
改革という観点は、休みをしっかり
取れることができるよう業務量を平準化

するための取り組みも引き続き進
めてまいります。
グループ企業5社で「琉通ロジスティ

クス総合研究所」立ち上げました。
県内のコンテナ数や物流施設の利用状
況など、基本的なデータ収集や市場動
向を分析するのが狙いで、効率的な
輸送は脱炭素化につながっていきます
ね。

RFF
SINCE1964

琉球通運グループ

琉球通運株式会社
代表取締役社長 喬納 秀智

株式会社琉球通運航空
代表取締役社長 新垣 篤

株式会社リウスイ
代表取締役専務 田辺 朝昭

大丸自動車株式会社
取締役社長 砂川 孝史

株式会社産経輸運
代表取締役社長 駒次 清勝